

令和3年度【技術】授業改善推進プラン

文京区立第八中学校

学年	課題の分析	授業改善の視点	成果と課題
1年生	<p>①製作に対する興味関心は多くの生徒がもっている。しかし、今までの製作経験が十分でないので、基本的技術が定着していないことや、計画的な製作が苦手と思われる。</p> <p>②作品製作経験が少ないので、自分の思いや考えを製作内容にどうやって取り入れたらよいかに苦手意識があると考え。</p>	<p>①製作に対する興味関心はあるので、生徒のつまずきを想定しながら、リカバリーできる時間や補充材料の態勢を整えて対応していく。</p> <p>②1時間ごとのスモールステップを設定し、達成感をもたせるようにする。</p> <p>③過去の作品を写真で紹介したり、班員と相談しながら作業を考える時間を設けたりして、構想をまとめやすくする。</p>	
2年生	<p>①電気に対する苦手意識がある生徒が多い。</p> <p>②製作意欲はあるが、製作物に対するデザイン上の創意工夫が乏しい生徒が多い。</p> <p>③作品製作経験が少ないので、道具や工具の扱いにまだ苦手意識がある生徒もいる。</p>	<p>①情報黒板やプリントを活用し、視覚的にわかりやすい説明を心がける。家庭生活との関わりを大切にする。</p> <p>②過去の作品を写真で見せたり、ネットで情報を調べたりして、自分のデザインを深めさせる。</p> <p>③新たに使う工具を扱う場面を多くする。また、1年次で学習した道具や機械を使った加工も取り入れて、さらなる技術力の定着を図る。</p>	
3年生	<p>①決められて作業をすることはよいが、与えられた課題をどう解決していけばよいのか、自分で考えたり、計画したりすることに苦手意識がある生徒が多い。</p> <p>②生物育成についての関心は全般的に低く、身近に植物を栽培した経験も少ない生徒が多い。虫に対する嫌悪感をもつ生徒も多い。</p> <p>③コンピュータを受け身的に操作することは好きだが、情報機器を活用して、自分の考えを表現したり発信することに苦手意識があると思われる。</p>	<p>①作品の完成イメージを知らせ、自分たちで考え、計画し、形作る時間をできるだけ多くする。すぐに答えを聞きたがるので、こちらからの情報はヒントとして、仲間との情報交換をしながら、自分たちで課題を解決できるようにさせる。</p> <p>②身近な野菜や草花作りを通して、実体験をさせることで、生物育成に興味関心を高めさせていく。</p> <p>③作品づくりや情報機器等を学ぶ中で、自己表現をする場面を意図的に計画し、苦手意識を少なくする。</p>	